

出身監督の主な活躍

近年の劇場公開作品

| | |
|--|--|
| ndjc2006 真田幹也 『ミドリムシの姫』(22) | ndjc2014 飯塚俊光 『踊ってミタ』(20) |
| ndjc2007 児玉和土 『ドラゴンボール超(スーパー) スーパーヒーロー』(22) | 草苺 勲 『死体の人』(23) |
| 平林 勇 『SHELL and JOINT』(20) | 吉野耕平 『水曜日が消えた』(20) 『ハケンアニメ!』(22) |
| ndjc2008 中野量太 『浅田家!』(20) | 『沈黙の艦隊』(23) |
| 和島香太郎 『梅切らぬバカ』(21) | ndjc2015 佐藤快磨 『泣く子はいねえが』(20) |
| ndjc2009 金井純一 『マイ・ダディ』(21) | ふくだももこ 『君が世界のはじまり』(20) |
| 組手由貴子 『あのこは貴族』(21) | 『ずっと独身でいるつもり?』(21) |
| ndjc2010 松永大司 『Pure Japanese』(22) | 『炎上する君』(23) |
| 『エゴイスト』(23) | 堀江貴大 『先生、私の隣に座っていただけませんか?』(21) |
| 三宅伸行 『世の中にたえて桜のなかりせば』(22) | ndjc2017 池田 暁 『きまじめ楽隊のぼんやり戦争』(21) |
| ndjc2011 中江和仁 『劇場版「きのう何食べた?」』(21) | ndjc2018 板橋基之 『Bridal, my Song』(22) |
| 藤澤浩和 『レディ・トゥ・レディ』(20) | |
| 『ツアーアウトフルベース』(22) | |

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2022

| | | | |
|---|---|--|--|
| <p>『うつぶせのまま踊りたい』 岡本昌也</p> <p>■ 日本アド・コンテンツ制作協会 ■ レスパフィルム ■ 福永朱梨、日下七海</p> | <p>『ラ・マヒ』 成瀬都香</p> <p>■ TAMA映画フォーラム実行委員会 ■ ROBOT ■ まりあ、夏すみれ、ライディーン、朝夏まみり、中野深咲</p> | <p>『サボテンと海底』 藤本楓</p> <p>■ 東京藝術大学大学院映像研究科映画専攻 ■ TOHOスタジオ ■ 宮田佳典、佐野岳、大友一生、石川浩司、ふせり</p> | <p>『デブリーズ』 牧大我</p> <p>■ ショートショートフィルムフェスティバル & アジア ■ キリシマー九四五 ■ 山根和馬、森 優作、カトウシンスケ</p> |
|---|---|--|--|

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2021

| | | | |
|---|---|---|---|
| <p>『少年と戦車』 竹中真人</p> <p>■ 東京藝術大学大学院映像研究科映画専攻 ■ 東映東京撮影所 ■ 鈴木 福、黒崎レイナ、笠井悠聖、林 裕太、松浦祐也</p> | <p>『遠くへいきたいわ』 団塚唯我</p> <p>■ なら国際映画祭 ■ シグロ ■ 野内まる、河井青葉、フジエタカ、津田寛治、金澤卓哉</p> | <p>『LONG-TERM COFFEE BREAK』 藤田直哉</p> <p>■ SKIPシティ 国際Dシネマ映画祭 ■ ジャンゴフィルム ■ 藤井美菜、佐野弘樹、福田麻由子、遊屋慎太郎、小横まこ</p> | <p>『なっちゃんの家』 道本咲希</p> <p>■ PFF ■ アミュージュ ■ 上坂美来、白川和子、斉藤蘭一部、須藤理彩、山崎 光</p> |
|---|---|---|---|

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2020

| | | |
|---|--|---|
| <p>『毎日爆裂クッキング』 植木咲楽</p> <p>■ PFF ■ アルタミラビクチャーズ ■ 安田聖堂、肘井ミカ、駒木根隆介、今里 真、小日向星一、大谷亮介、渡辺えり</p> | <p>『醒めてまぼろし』 木村優菜</p> <p>■ 日本映画大学 ■ シネムーブ ■ 小野花梨、青木 柚、遠山景織子、仁科 貴、青柳尊哉、尾崎桃子</p> | <p>『窓たち』 志登大輔</p> <p>■ PFF ■ 角川大映スタジオ ■ 小林涼子、関口アナン、瀬戸さおり、小林竜樹、里々佳</p> |
|---|--|---|

ndJC 若手映画作家育成プロジェクト

日本映画界の次世代を担う映画監督を発掘・育成し、日本映画の活性化を目指します。

〈 2023年度プロジェクト概要 〉

01 作家募集

4月～6月

各団体等からの推薦により作家を募集 一次選考にてワークショップ参加作家を決定

【応募要件】

- ① 日本国籍又は日本の永住資格を有すること。
- ② 35才未満(2023年3月31日現在)の年齢条件を満たすこと。
- ③ 過去に商業長編映画^{※1}の経験がある者、今後その予定がある者は除く。
※1 東京都内で、1日3回、2週間を超えて、商業映画館にて上映された40分以上の劇映画作品
- ④ 過去の当プロジェクト製作実地研修参加者は除く、但しワークショップまでの参加者については再応募可能。
- ⑤ 以下のいずれかに該当することを原則とする。
(1) 製作した映像作品等で評価を得た実績のある者(映画祭での入選等)
(2) 商業映像等、映像製作分野での優秀な実務実績のある者(助監督、CMディレクター等も可)
- ⑥ 応募は、団体等の推薦によるものとする。
映画業界団体(日本映画製作者連盟、日本映画製作者協会 他)、映画、映像に関連する大学や専門学校、国内外映画祭事務局 等
- ⑦ 以下を提出すること(※基本的に応募作家自身が執筆すること)。
(1) 製作実地研修で制作したい作品の企画意図、プロット、脚本(25分以上、30分以内の実写作品)
(2) 事務局の指定する様式による応募書類(ndjc公式サイトよりダウンロード)
(3) ⑤の条件を満たしていることを示す資料
- ⑧ 学校または会社・団体等に所属する者は、参加について、学校または会社・団体等の承認を得ていること。

02 ワークショップ

7月～8月

同一の課題・条件での5分間の短編制作
講師(プロデューサー、脚本家、編集技師等)による指導と講評

オリエンテーション

撮影

編集

発表・講評

最終選考にて製作実地研修参加作家を決定

03 製作実地研修

8月～1月

プロのスタッフによる指導のもと、短編映画作品を製作

【製作実地研修の指針】

- ① 企画 オリジナルの劇映画作品(年齢等による鑑賞制限がからず、広く発表できるもの)
- ② 上映分数 25分以上、30分以内
- ③ 脚本 参加作家自身の執筆を基本とする
- ④ 撮影・仕上げ 事務局が指定する制作プロダクションとの作品製作

経験豊かなプロデューサー、脚本家等による指導・助言

2022年度制作プロダクション

レスパフィルム / ROBOT
TOHOスタジオ / キリシマー九四五

04 作品発表

2月以降

完成作品の上映会、講評会の実施

- ① 映画関係者、マスコミ等を対象とした合評上映会
- ② プロジェクト検討委員・脚本指導講師による講評会
- ③ 国内外の映画祭への出品、映画館での特集上映 他

『エゴイスト』松永大司監督、『ハケンアニメ!』吉野耕平監督など注目の若手監督を輩出!

若手映画作家育成プロジェクト2023

プロのスタッフの指導のもと、オリジナル脚本で短編映画作品を製作する人材育成プロジェクトです。

ndJC

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2023

監督募集

推薦団体を通じてご応募ください

応募締切 6.2 [金] 12:00

応募意思のご連絡 5.29 [月] 17:00まで

◎ 第1回 募集説明会 オンライン 4.26 [水] 18:00-

◎ 第2回 募集説明会 オンライン 5.9 [火] 18:00-

募集内容の詳細、オンライン募集説明会の参加申込についてはこちらから ndjc 🔍

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2019

『あなたみたいに、なりたくない。』 川崎 僚
『Le Cerveau - セルブオ』 島田欣征
『魚座どうし』 山中瑠子

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2018

『くもりときどき 晴れ』 板橋基之
『はずれ家族のサーヤ』 岡本未樹子
『最後の審判』 川上信也
『サヨナラ家族』 眞田康平
『うちうちの面達(つらたち)は。』 山元 環

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2017

『化け物と女』 池田 暁
『カレーライス Curry and Rice』 奥野俊作
『もんちゃん』 金 晋弘
『トーキョーカプセル』 齋藤栄美
『さらば、ダイヤモンド』 中川和博

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2016

『白T』 金 允洙
『ジョニーの休日』 新谷寛行
『バンクしそうだ』 目黒啓太
『戦場へ、インターン』 篠下雷太
『SENIOR MAN』 吉野 圭

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2015

『壊れ始めてる、ヘイヘイヘイ』 佐藤快磨
『父の結婚』 ぶくだももこ
『罪とバス』 藤井悠輔
『はなくじらち』 堀江貴大

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2014

『チキンズダイナマイト』 飯塚俊光
『もちつきラブソディ』 加瀬 聡
『本のゆがみ』 草苺 勲
『good-bye』 羽生敏博
『エンドローラース』 吉野耕平

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2013

『鉄馬と風』 浅沼直也
『カオリと機械油』 北川帯寛
『オシヤレ 番外地』 高谷昂佑
『ミチズレ』 文晟 豪
『世田谷区 39丁目』 山下征志

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2012

『半径3キロの世界』 菊池清嗣
『カサブランカの探偵』 小林達夫
『んで、全部、海さ流した。』 庄司輝秋
『ラララ・ランドリー』 鈴木研一郎
『プリンの味』 畑中大輔

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2011

『ここにいる…』 七字幸久
『あかり』 谷本佳織
『パーマメントランド』 中江和仁
『嘘々実実』 藤澤浩和
『UTAGE』 やましたつぼみ

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2010

『曇天クラッシュ』 高橋康進
『逆転のシンデレラ』 藤村享平
『おとこのこ』 松久大司
『RAFT』 三宅伸行
『動物の狩り方』 森 英人

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2009

『きみは僕の未来』 浅野晋康
『ペダルの行方』 金井純一
『ホールイン・ワンダーランド』 清水 鮎
『アンダーウェア・アフェア』 組手由貴子
『そぼろごはん』 遠山浩司

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2008

『嘘つき女の明けない夜明け』 熊谷まどか
『花になる』 田中智章
『琥珀色のキラキラ』 中野量太
『くだん』 吉井和之
『第三の肌』 和島香太郎

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2007

『天国のバス』 都司掛雄之
『さよなら、ジョージ・アダムスキー』 児玉和土
『直下型の女』 タテナイケンタ
『BABIN』 平林 勇
『UFO食堂』 山口 智

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2006

『屋根の上の赤い女』 岡 太地
『ヒトモウ』 児玉徹郎
『trash words』 佐藤克剛
『Life Cycles』 真田幹也
『LINE』 中尾浩之

『Flying Baby』 野口照夫
『けものがにける』 村松正浩
『さちと子コ』 柳川薫平

●...作家推薦団体
●...制作プロダクション
●...育成管理団体
●...主な出演者
©2008-2023 VIPO
©2007 DAICHI OKA / VIPO
©2007 TETSURO KODAMA / VIPO
©2007 KATSUNORI SATO / VIPO
©2007 MIKIYA SANADA / VIPO
©2007 HIROYUKI NAKAO / VIPO
©2007 TERUO NOGUCHI / VIPO
©2007 MASAHIRO MURAMATSU / VIPO
©2007 KUNPEI YANGAWA / VIPO